

湊小だより



平成30年（2018年）11月号

湊小学校 校長 戸川定昭

11月は『きのくに学び月間』です

秋も深まり朝夕は少し寒く感じる様になりました。保護者の皆様方、いかがお過ごしでしょうか。10月は、台風により延期となりました運動会、2年・6年の学年めぐり、6年生の喜楽会との交流、5年生の高野山合宿など、たくさんの行事がありました。運動会では、平日開催にも関わらず、多くの保護者や地域の方々に参観いただき、ありがとうございました。喜楽会の方々との交流では、昔の生活の様子等を6年生にわかりやすく教えていただきました。核家族化が広がり、年代の離れた方々と交流する機会が少なくなっている中、子どもたちにとって、今回の交流会はたいへん貴重な経験でした。

さて、11月は和歌山県教育委員会が制定した「きのくに学び月間」です。これに伴い、平常よりも学校を開放し、保護者や地域の方々に学校、子ども、教育について、関心と理解を深めていただく期間となっています。本校においても、授業参観、その後の講演会をはじめ、様々な取組を行いますので、学校へお越しいただき、子どもたちの活躍の様子をご覧ください。

「きのくに学び月間」について（和歌山県教育委員会 HP より）

和歌山県では、子どもや大人の教育に対する関心や理解を深め、学校・家庭・地域が連携して取り組み、本県の教育の一層の充実と発展を図るため、平成18年度に、11月1日を「きのくに学びの日」、11月を「きのくに学び月間」としました。「きのくに学びの日」を含む「きのくに学び月間」には、県民の皆さん一人ひとりが「学び」や「教育」の大切さを考えていただくために、各市町村や学校で、さまざまな取り組みが行われています。

高野山にて感じたこと

5年生の高野山合宿では、奥の院を散策したり、間伐体験をしたり、むささび観察や森林観察をしたり、宿坊に宿泊したり・・・と高野山の歴史・文化・自然をしっかりと体験し、子どもたちは多くのことを学びました。

驚いたことは、外国人観光客の多さです。子どもたちは、外国人観光客の方々に、どちらの国から来られたのか、英語で尋ねていました。イギリス、ドイツ、フランス、ニュージーランド、スペイン、コロンビア、ロシア、アメリカと様々な国から来られていました。イギリス、ニュージーランド、アメリカ以外の国の言葉は英語ではありません。しかし、彼らは、丁寧なわかりやすい英語で答えてくれました。なんと、英語は便利な言葉なのでしょう。そんな風に実感し、今後の英語学習の動機付けにつながってくれたら幸いです。

